

2018年度決算概要と経営戦略

(2019.7)

株式会社 KVK

CODE 6484

問い合わせ先: 経営管理本部長 小関智晶

TEL: 0574-55-0006

e-mail: info@kvk.co.jp

URL : <http://www.kvk.co.jp/>



〔注意事項〕

本資料記載の予想・見通しなどは、当社が資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、情報の正確性を保証するものではありません。

経営環境の変化などにより、実際の業績は当初の見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。

1. 2018年度通期業績
2. 今後の経営戦略

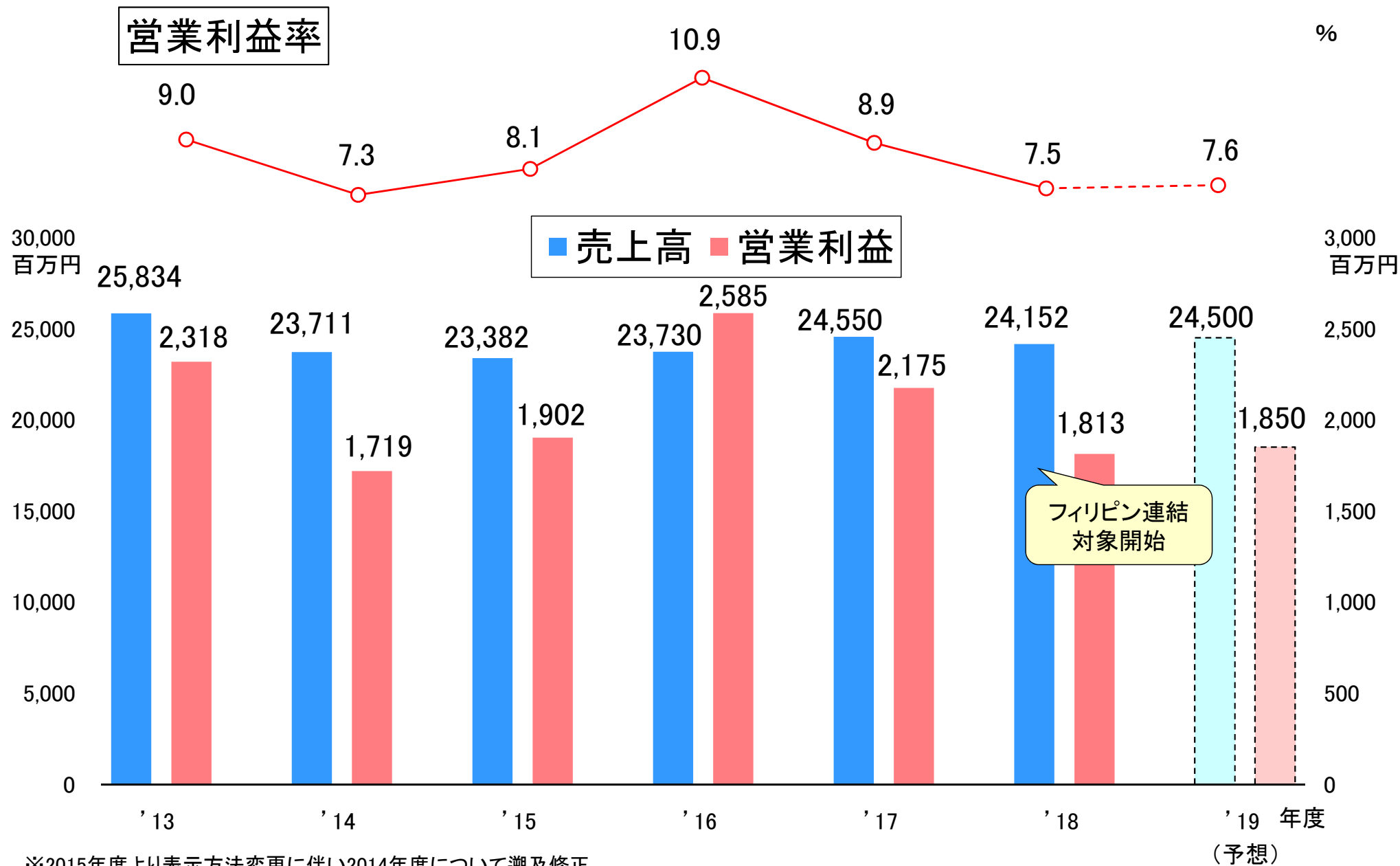
決算ハイライト (通期)



【連結】 (単位:百万円)	2017年度		2018年度		増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高	24,550	100.0%	24,152	100.0%	▲397	▲1.6%
営業利益	2,175	8.9%	1,813	7.5%	▲361	▲16.6%
経常利益	2,206	9.0%	1,928	8.0%	▲278	▲12.6%
当期純利益	1,395	5.7%	924	3.8%	▲470	▲33.7%
EPS	167.56	-	113.06	-	-	-
【単独】 (単位:百万円)	2017年度		2018年度		増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高	24,426	100.0%	24,501	100.0%	74	0.3%
営業利益	2,151	8.8%	1,500	6.1%	▲650	▲30.3%
経常利益	2,262	9.3%	1,957	8.0%	▲305	▲13.5%
当期純利益	1,444	5.9%	1,027	4.2%	▲416	▲28.9%
EPS	173.44	-	125.59	-	-	-

原材料高値
推移。利益率
は低下。

業績推移 (連結)



品目別売上高構成比(連結)

KVK

品目別売上高構成比

その他

4,518百万円 18.7%



単独水栓

2,839百万円 11.8%



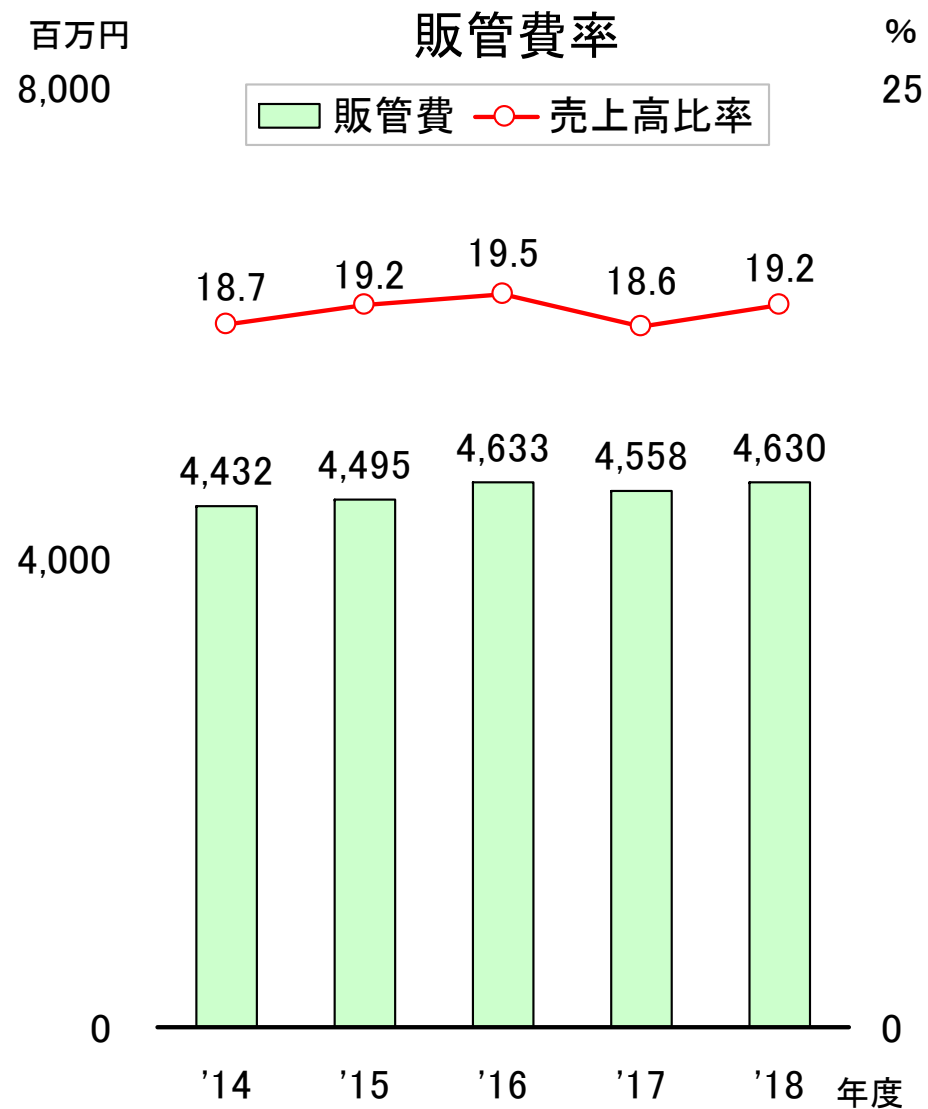
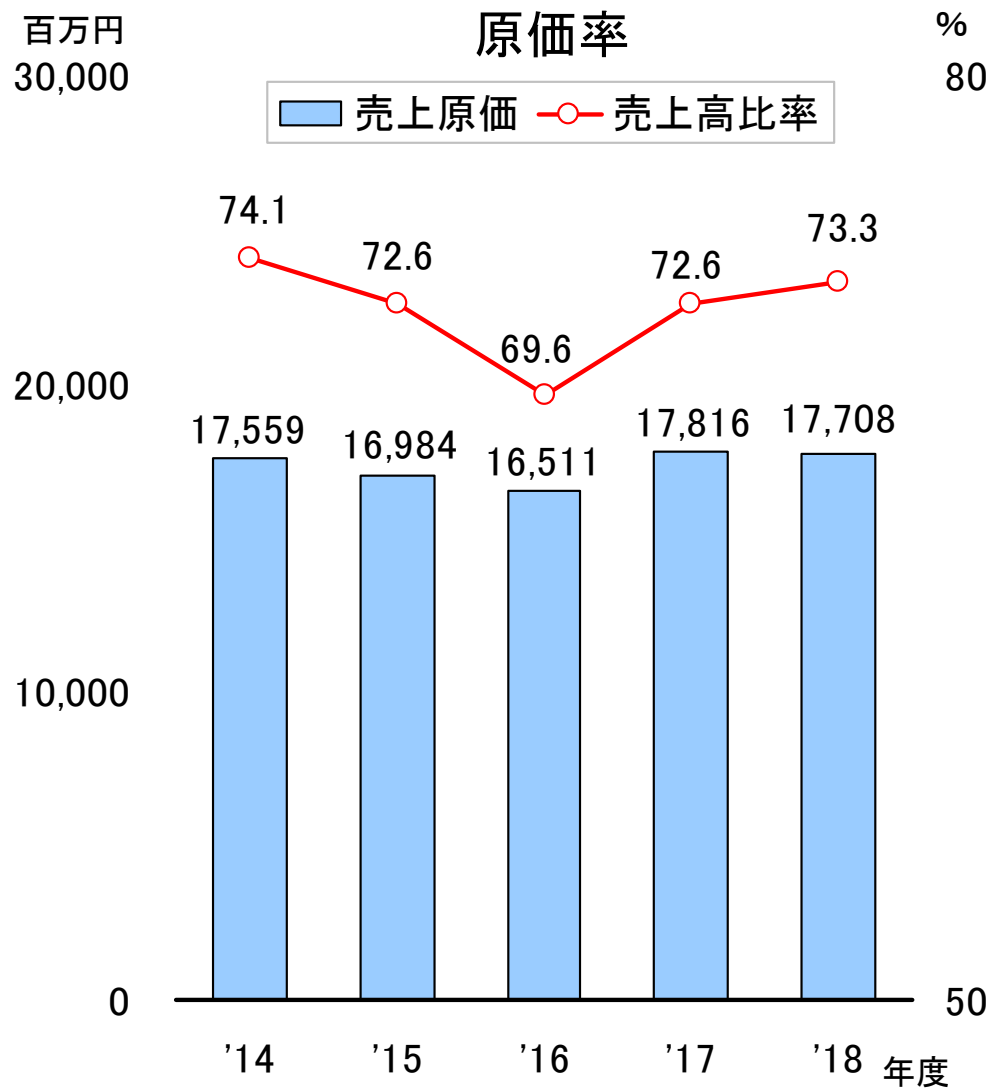
シャワー付湯水混合水栓
10,880百万円 45.0%

当期
241億円



湯水混合水栓
5,913百万円 24.5%

原価率・販管費率 (連結)



※2015年度より表示方針変更に伴い2014年度について遡及修正

貸借対照表 (連結)



資産の部 △1億19百万円

流動資産は、前期末に比べ21億53百万円減少し、151億11百万円となりました。これは主に、現金及び預金、売上債権の減少によるものです。

固定資産は、前期末に比べ20億34百万円増加し、105億45百万円となりました。これは主に、投資不動産の増加によるものです。

純資産の部 △50百万円

純資産は、前期末に比べ50百万円減少し、186億39百万円となりました。これは主に、役員及び従業員向け株式交付信託制度導入に伴い、自己株式を4億39百万円取得したことによるものです。

自己資本比率は前期末に比べ0.5ポイント上昇し72.7%となり、1株当たり純資産額は2,310円60銭となりました。

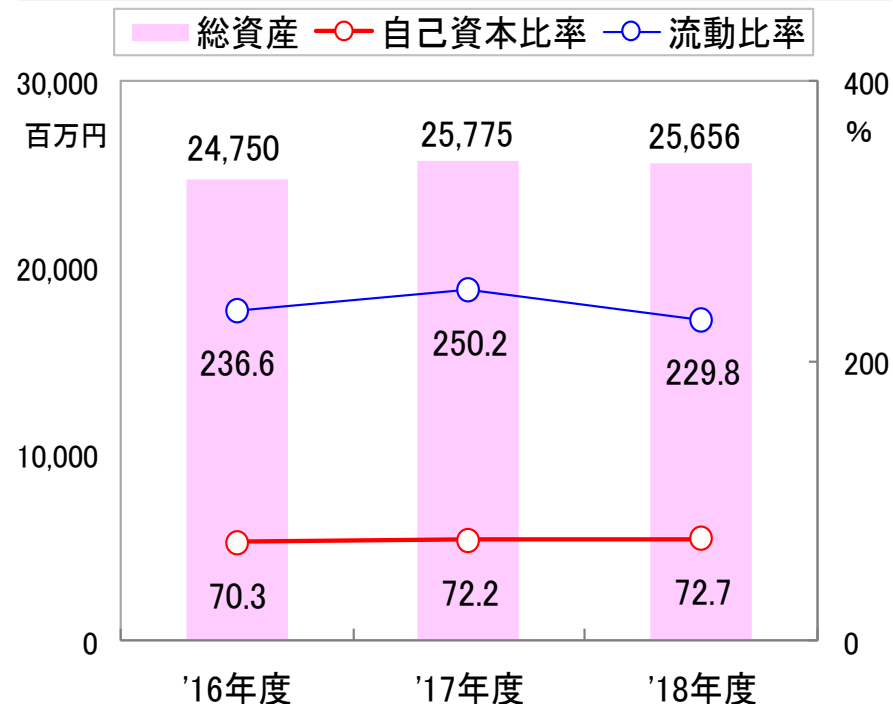
資産の部 25,775 ↓ 25,656	負債の部 7,085 ↓ 7,016
純資産の部 18,690 ↓ 18,639	

※単位:百万円 前期末との比較

負債の部 △68百万円

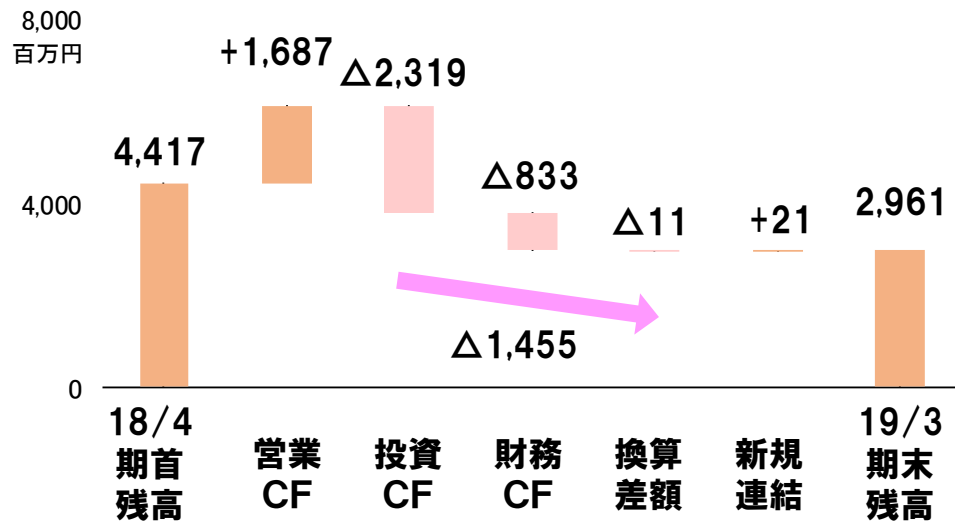
流動負債は、前期末に比べ3億26百万円減少し、65億74百万円となりました。これは主に、未払法人税等が3億79百万円減少したことによるものです。この結果、流動比率は前期末に比べ20.4ポイント減少し、229.8%となりました。

固定負債は、前期末に比べ2億57百万円増加し、4億42百万円となりました。これは主に、役員株式給付引当金の増加によるものです。



※'18年度より繰延税金資産および繰延税金負債の表示方法変更に伴い'17年度について遡及修正

キャッシュ・フロー（連結）



(単位: 百万円)

科目	'18/3	'19/3	増減額
税金等調整前当期純利益	2,053	1,358	△ 695
減価償却費	823	818	△ 5
減損損失	-	294	294
法人税等支払	△ 676	△ 765	△ 88
運転資本	△ 830	△ 22	808
その他	255	7	△ 248
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,626	1,687	61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 764	△ 2,319	△ 1,554
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 377	△ 833	△ 456
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	△ 11	△ 36
現金及び現金同等物の増減額	509	△ 1,477	△ 1,986
現金及び現金同等物の期首残高	3,908	4,417	509
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	21	21
現金及び現金同等物の期末残高	4,417	2,961	△ 1,455

※運転資本＝売上債権の増減額+たな卸資産の増減額+仕入債務の増減額

営業活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、61百万円収入が増加し、16億87百万円の収入となりました。これは主に、売上債権の減少などによるものです。

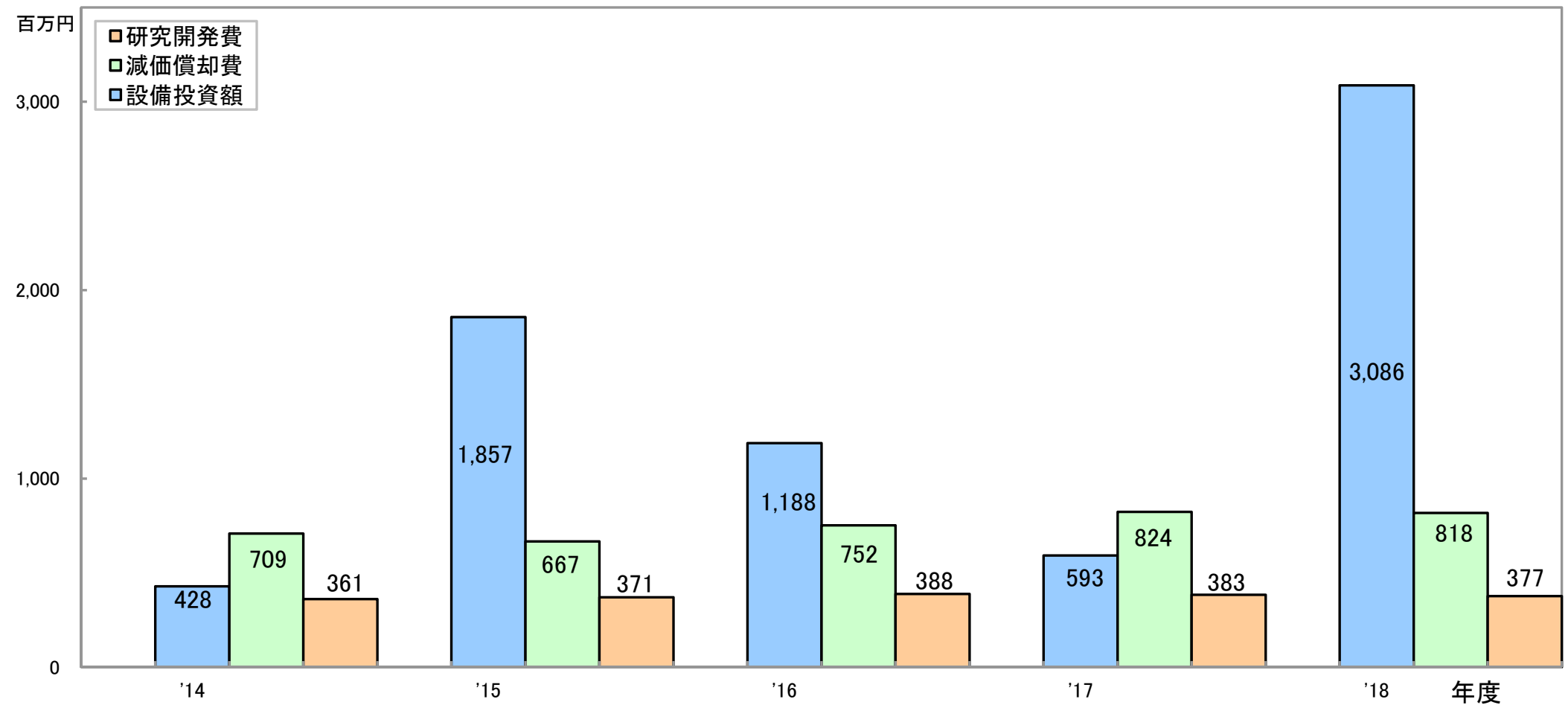
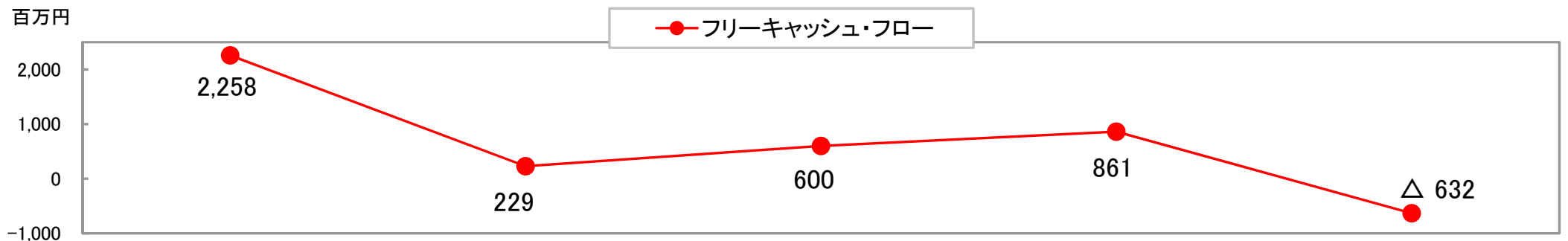
投資活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、15億54百万円支出が増加し、23億19百万円の支出となりました。これは、主に、投資不動産の取得による支出などによるものです。

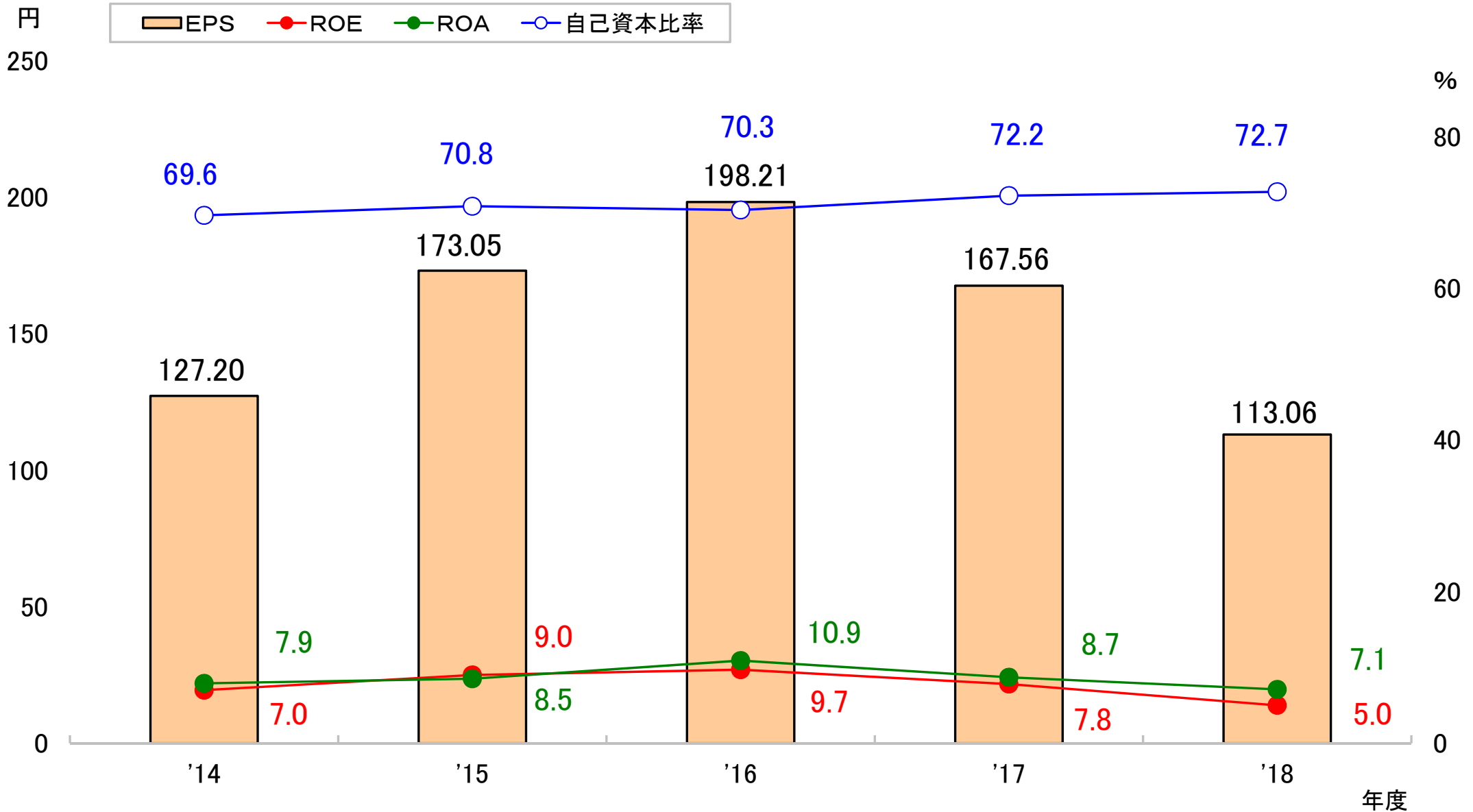
財務活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、4億56百万円支出が増加し、8億33百万円の支出となりました。この結果、当期末の現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ14億55百万円減少し、29億61百万円となりました。

設備投資・減価償却費・研究開発費（連結）

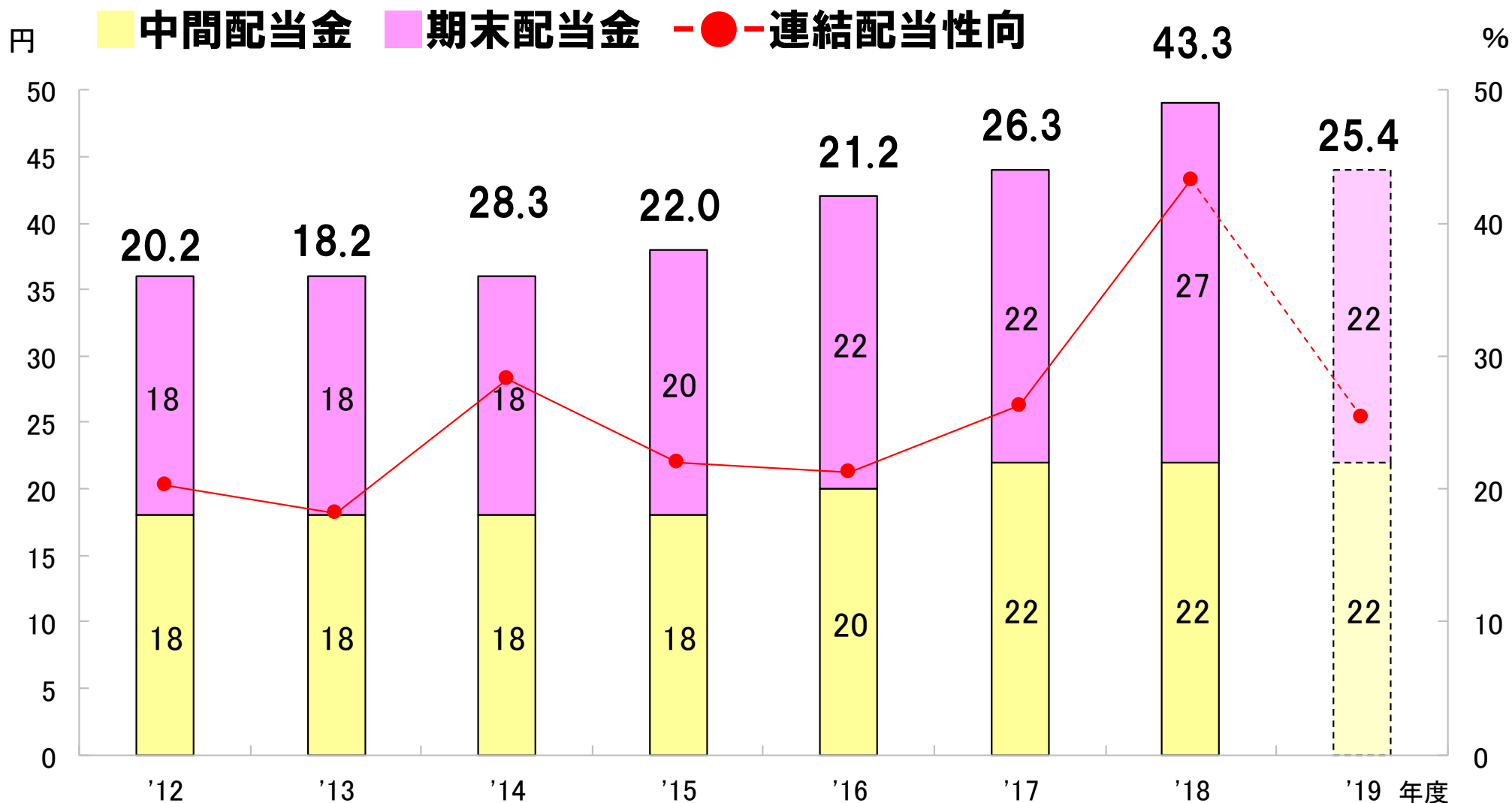


主要経営指標（連結）



※EPSは、2017年10月1日付の株式合併に伴い、2014年度期首に株式合併が行われたと仮定して算出しています。

1株当たり配当金



※表中の配当金額は2017年10月1日付の株式合併に伴い、2012年度の期首に株式合併が行われたと仮定して算出しています

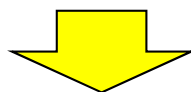
配当利回り(配当/株価)	4.2	2.8	2.8	3.1	3.5	2.7	3.2	2.9 %
株価	424	638	636	610	596	1,615	1,525	1,540 円

※株価:日々の終値の平均。'19年度配当利回りは'19/3末終値(@1,540)で算出。配当性向:配当/1株当たり純利益

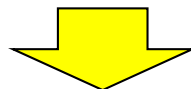
1. 2018年度通期業績
2. 今後の経営戦略

KVKグループを取り巻く事業環境

- 為替・材料価格・受注の変動
- 少子・高齢化→世帯数減少→新設住宅減少→他社との競争激化
- 量から質への住宅政策の転換
(住生活基本計画によるリフォーム需要後押し)
 - … リノベーションの時代到来
 - … 震災による住宅価値観の変化(省エネ・防災・耐震性など)
- 安全安心、健康、心地よさ、環境共生への関心の高まり



消費構造の変化、ニーズ・価値観の多様化で
新しい需要が創出され大きなチャンス



- お客様の新生活スタイルを提案する市場創造型の
商品・サービスづくり
- 変種・減量に対応できるモノづくり

市場創造型の差別化商品づくり

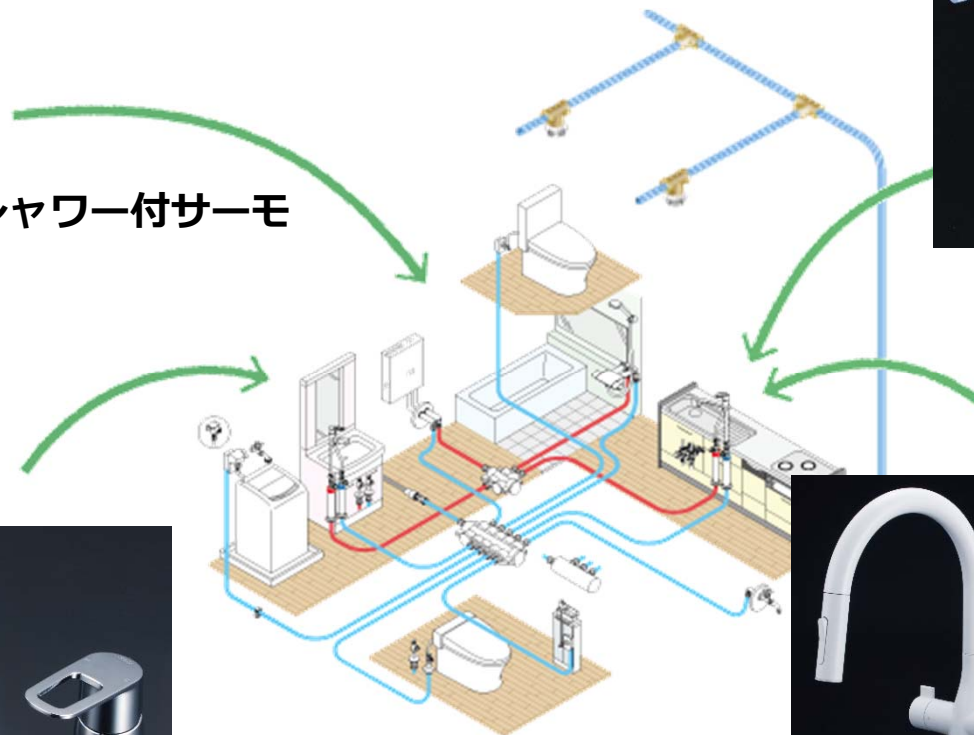
～安全・安心、品質、コスト、省エネ・環境、心地よさ・デザイン～



KF3060MB
オーバーヘッドシャワー付サーモ



FSL120DET
シングルレバー式洗髪シャワー



KM6161シリーズ
引出しタイプ水栓



KM6081SCECM4



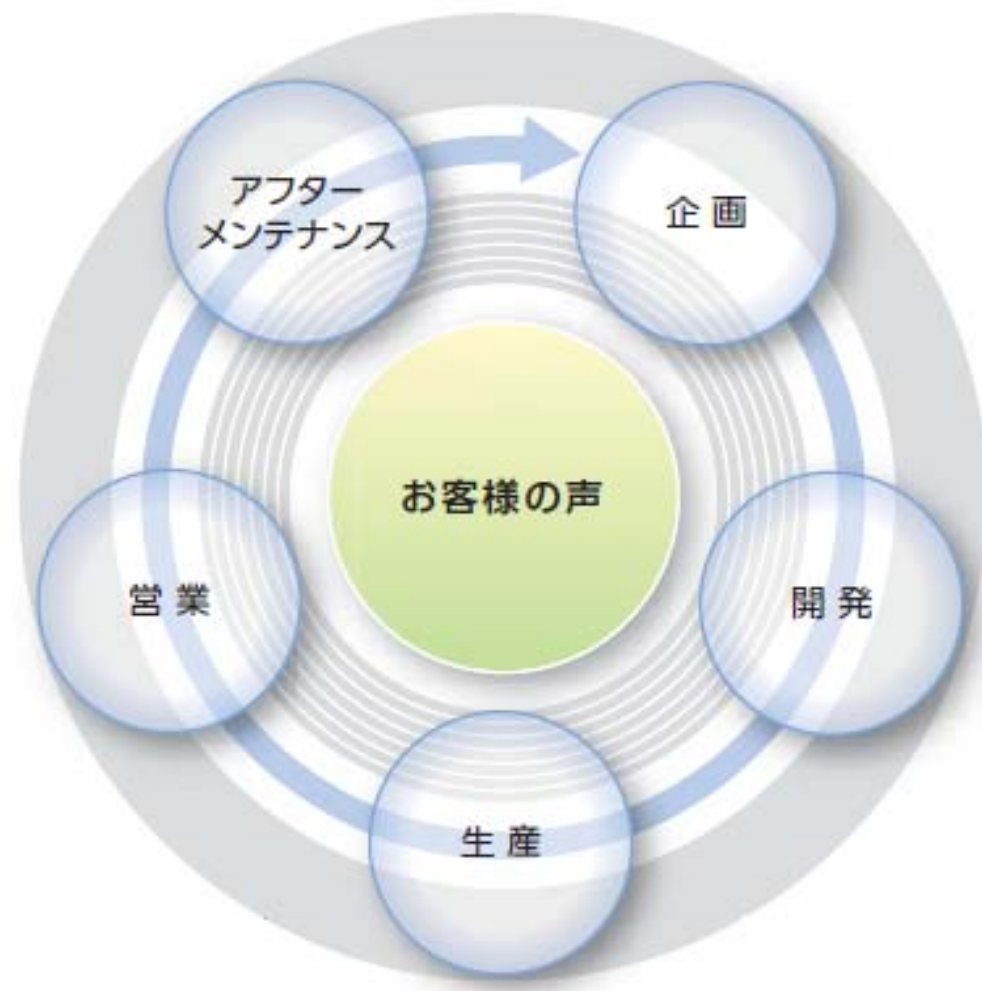
KM6081SCECM5

浄水器付シャワー引出しタイプ水栓

“お客様起点”でサイクルを回す

～お客様の声を
営業活動・製品づくりへ～

お客様から“水栓はKVK”と
選ばれ続ける**KVK**ブランド
を確立し、新たな顧客価値を
創造する。

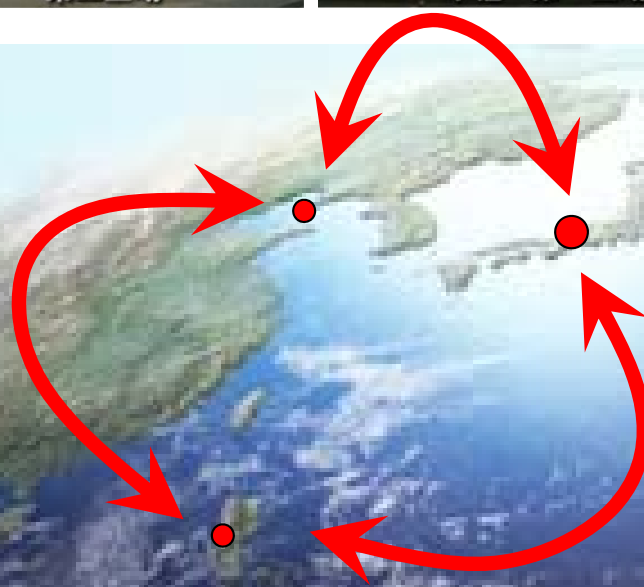


3拠点による最適生産体制の構築

海外市場の開拓と現地パートナーとの継続的関係の構築
グローバルな最適生産・最適部材調達の構築



本社工場

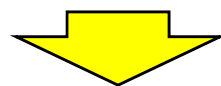


KPS活動による「マーケット・インのモノづくり」

①工程面:「ジャスト・イン・タイム」

(必要なモノを必要なタイミングで届けるためのモノの流し方)

②作業面:「自動化」 (良いモノをより安くつくる)



業界No.1へのこだわり(品質・納期・コスト)

営業・開発・調達・生技・製造現場が一体となりコスト構造を見直す。

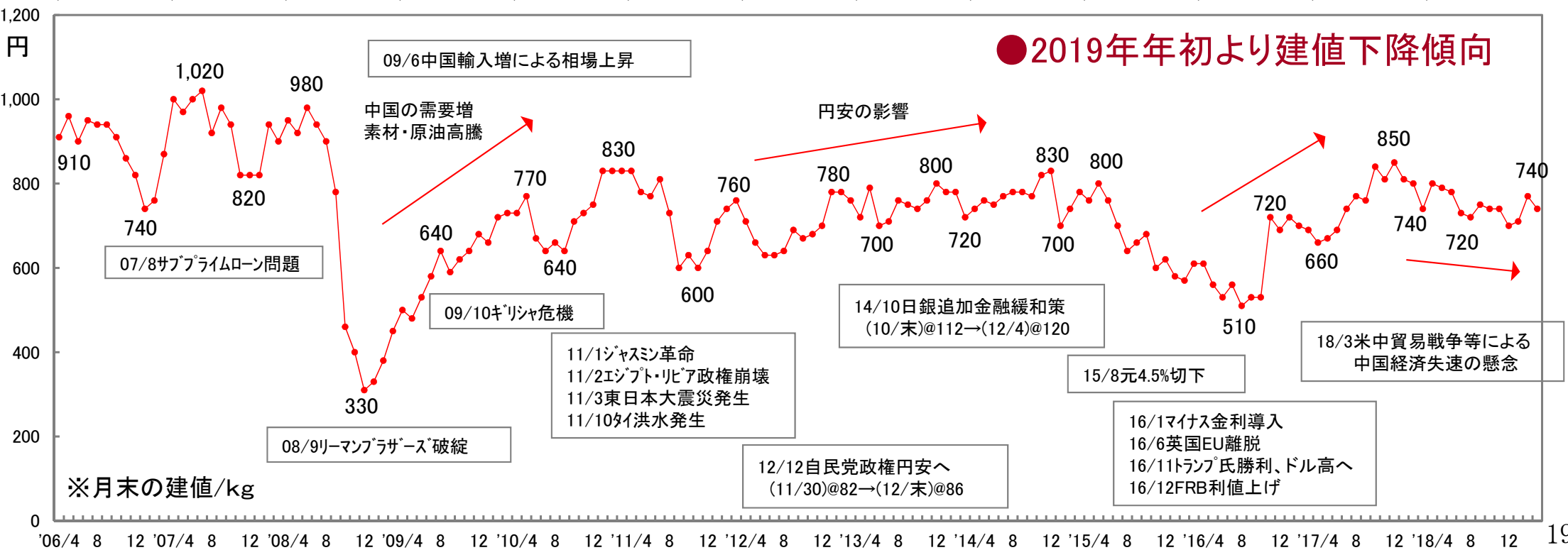
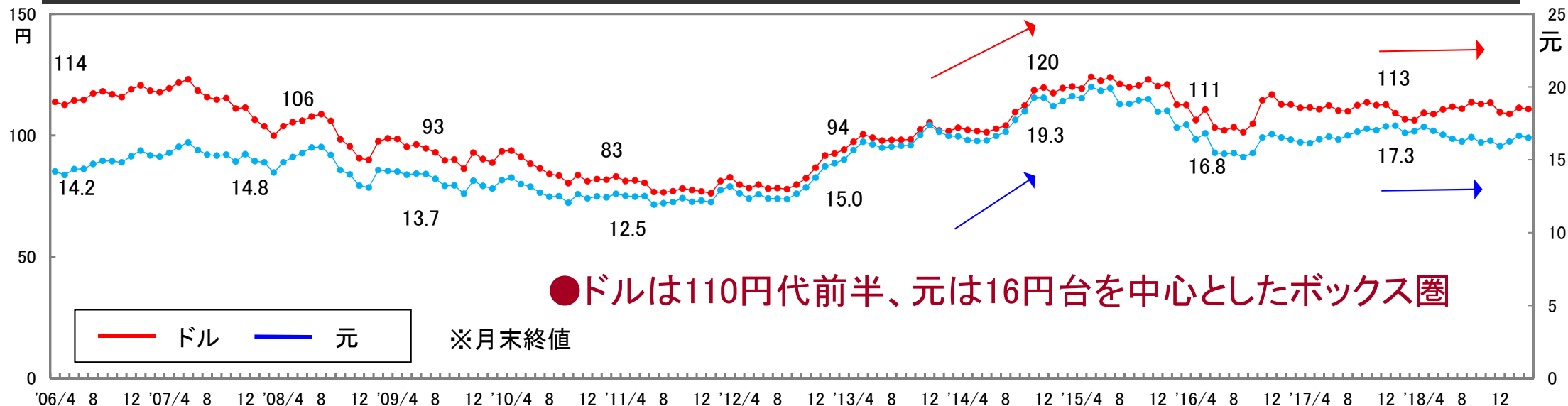
本社工場一貫生産体制 + 工場直出荷



物流新棟

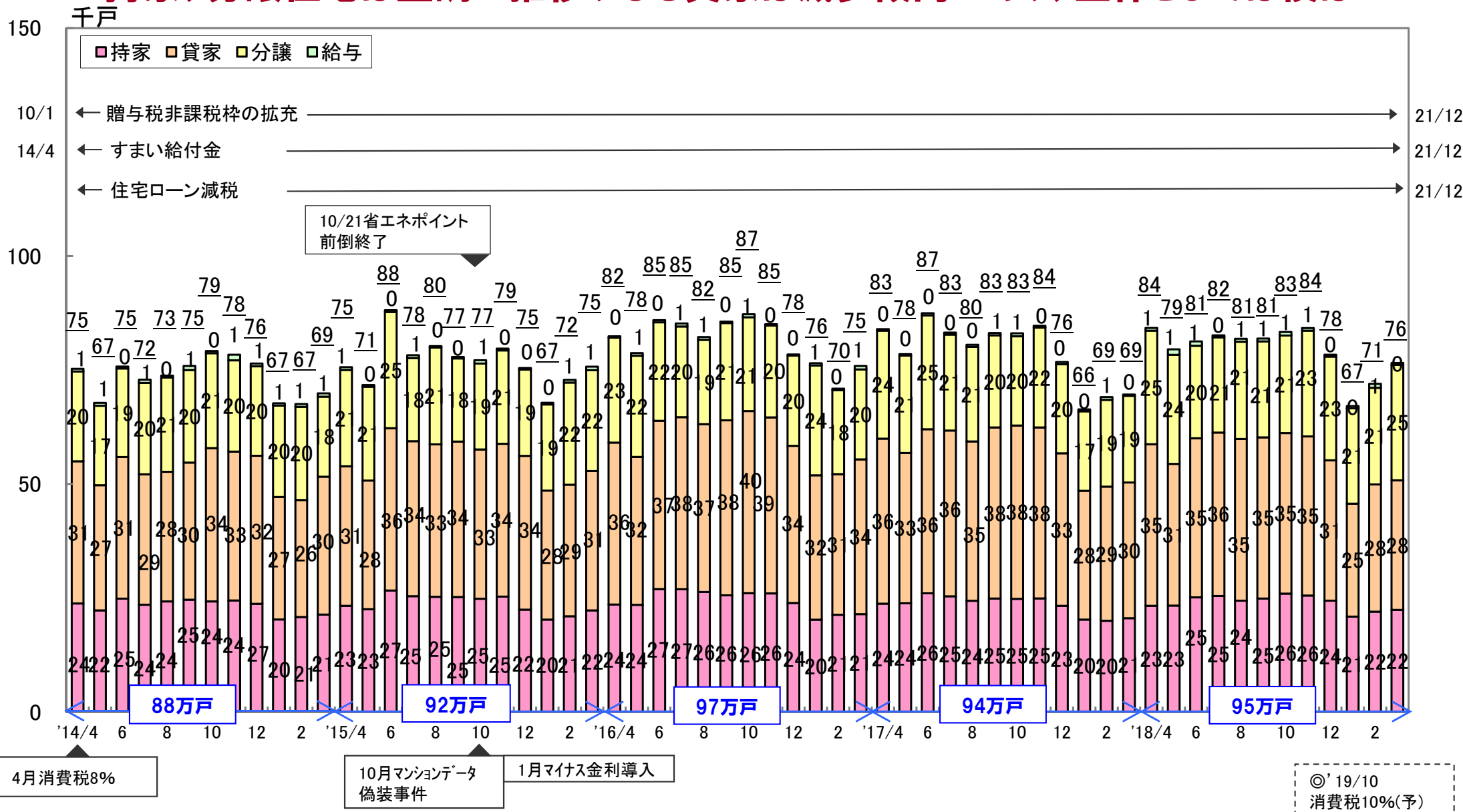
●受注から生産、出荷まで全工程に渡り効率化

(市況) 為替・銅価格



(市況) 月別新設住宅市場

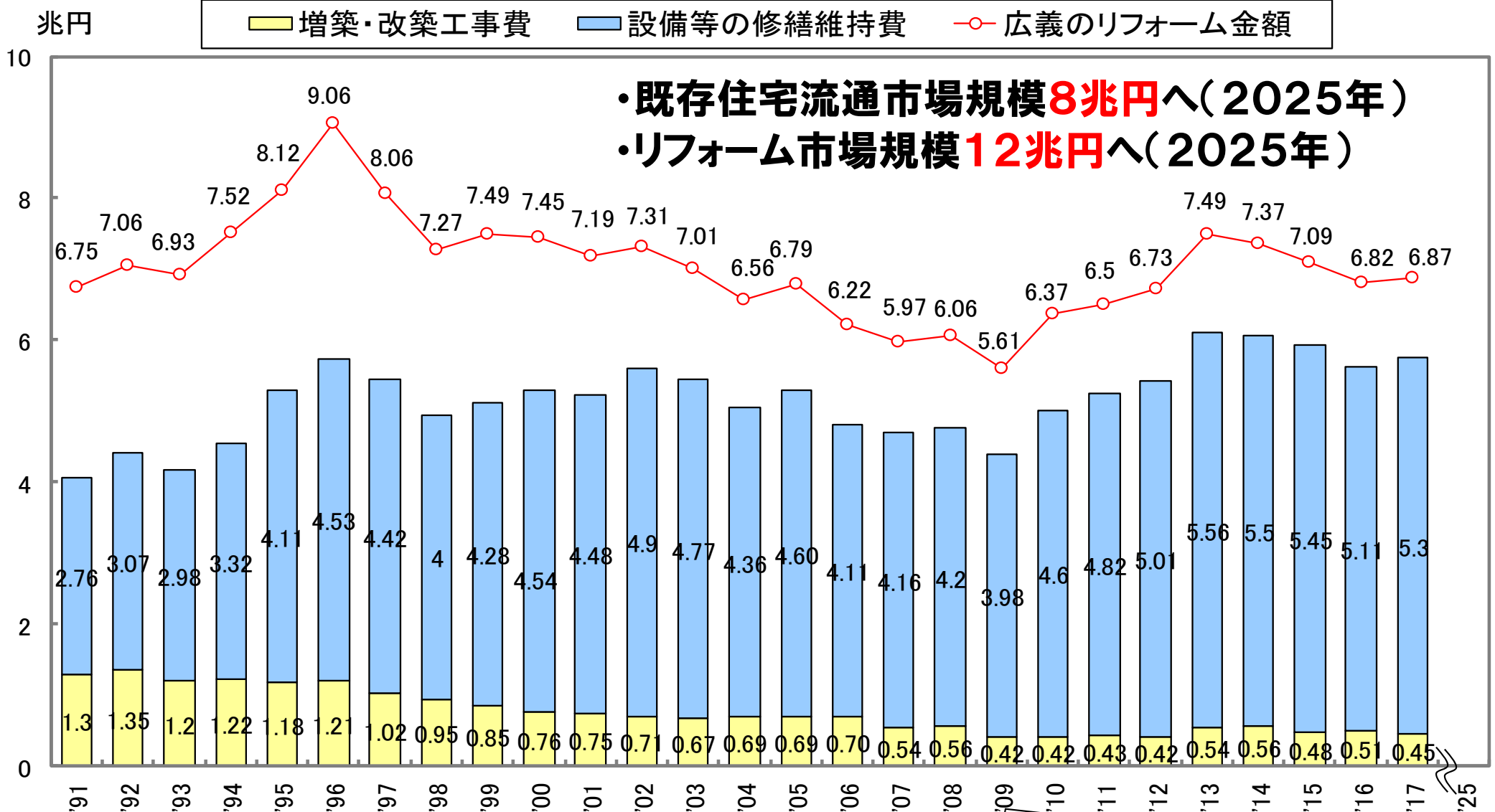
持家、分譲住宅は堅調に推移するも貸家は減少傾向にあり、全体としては横ばい



※資料：国土交通省

(市況) リフォーム市場

新住生活基本計画



※資料: 国土交通省、(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター

リーマンショックに伴う消費低迷の影響

KVK



**お客様とともに
“快適な水まわり”を創造する。**